

# 工大一 3校合同に大勝

## アイスホッケー

### 青森県高校新人戦

青森県高校新人戦アイスホッケー競技は10日、テクノルアイスパーク八戸で開幕した。今大会は、工大一以外の学校が単独でのチーム編成が困難なため、八戸、八戸工、八学光星が3校合同で出場した。初日は工大一と3校合同チームの第1戦が行われ、工大一が第2ピリオドに一半9点を奪うなど攻守で圧倒し、13-0で大勝した。

大会は新型コロナウイルスの影響で過去2年が中止となっており、3年ぶりの開催。11日は両チームによる第2戦が行われ、優勝チームが決まる。（福田駿）

▽第戦

工大一 13-0 3校合同

9-0

3-0

▽得点：竹島、柳町、小笠原3、中村3、米田将2、高崎2、藤田（工）▽補点：名久井2、中村3、米田将2、藤田、高崎、小笠原（工）

ぶつつけ本番で臨む

○…3校合同は新チーム



試合前に互いを鼓舞する八戸・八戸工・八学光星合同メンバー  
＝テクノルアイスパーク八戸

での初戦に、事前練習ができないままぶつつけ本番で臨んだ。選手間のぎこちなさは隠せず、2桁失点無得点での大敗だったが、メンバーは無事に初戦を終えて充実した表情。副主将を務めた八戸工の河村魁人は「慣れない部分はあったが、最初としてはみんな走れていた」と汗を拭いた。

メンバーは八戸工9人、八戸2人、八学光星3人で構成。この日は攻め込まれる時間が長かったが、「次はできるだけしのぎ、自分がプレーや声で鼓舞する」とGK橋本雄成（八戸）。積極的なプレーが光った八学光星の中村柚喜は「仲間の特徴がある程度つかめた。パス回しなどに生かしたい」と11日の最終戦を見据えた。